

知って なるほど!
三重県立総合医療センター



アドバンス助産師 ご存知ですか?

アドバンス助産師とは、日本助産評価機構から助産にかかわる知識と技術を認証された助産師のことです。当院では6名のアドバンス助産師が活動しています。

当院は地域周産期母子医療センターの認定を受けており、地域から合併症をお持ちの妊産褥婦さんが紹介され受診されています。

みなさまが、安全に妊娠・分娩を終え、安心して子育てが出来るよう、これからもアドバンス助産師が中心となり、助産師一同、寄り添った質の高いケアを提供させていただきます。



マイナンバーカードの健康保険証(マイナ保険証)をご利用ください

令和6年12月2日に健康保険証の新規発行が終了し、マイナンバーカードを健康保険証を利用するための「顔認証付きカードリーダー」が設置されていますので、ぜひご利用ください。



マイナンバーカードの健康保険証利用には次のメリットが得られます。

メリット1

受付時にお薬の履歴や過去の特定健診の情報等の提供に同意すると、ご自身の情報に基づいた診断や重複する投薬を回避した適切な処方を受けることができます。



メリット2

マイナンバーカードを保険証として利用する際に、申請に必要な情報を提供することに同意すれば、限度額適用認定証がなくても限度額を超える支払いが免除されます。



三重県立総合医療センターの基本理念・基本方針

基本理念

- 救命救急、高度医療等を提供することにより、県の医療水準の向上に貢献します。
- 安全・安心で互いにささえあう社会の実現に向けて医療面から貢献します。

基本方針

- 患者の皆様の権利を尊重し、信頼と満足の得られるチーム医療を提供します。
- 県の基幹病院として、医療の安全と質を高め、次代を担う優れた医療人材の育成に貢献します。
- 県内の医療機関等との連携を強化し、地域医療の充実に努めます。
- 職場環境を改善し、職員のモチベーションの向上に努めます。
- 責任と権限を明確にした自律的・自主的な経営を行います。

臨床研修基本理念・基本方針

臨床研修基本理念

「人の痛みがわかり、相手の立場で考えられる」など医師としての人格を涵養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学や医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、日常診療で頻繁に関わる病気や病態に適切に対応できるよう、医師としての基本的な診療能力(態度、技能、知識)を身につける。

臨床研修基本方針

- 患者及び家族とのコミュニケーション能力を習得し、医師としての人格を涵養する。
- 全人的医療を実践することができるプライマリ・ケアの基本的診療能力を習得する。
- チーム医療の一員としての役割を理解し、協調性をもってチーム医療を実践する。
- 医療安全を理解し、安全な医療を遂行する能力を身につける。
- 医療人としての倫理観を養成する。

地方独立行政法人 三重県立総合医療センター広報紙編集委員会 令和7年5月／発行号

所在地／〒510-8561 三重県四日市市大字日永5450-132

電話／059-345-2321(代表) FAX／059-347-3500 メール／sogohos@mie-gmc.jp

MEDICAL CENTER NEWS

医療センターニュース

vol.101 2025 Spring

TAKE
FREE
ご自由にお持ちください

理事長・病院長ロングインタビュー

三重県立総合医療センター さらなる変化、拡充へ

業務の効率化など、より意識

topics

- 新任医師紹介5
- 採用者辞令交付5
- インフォメーション6
- 休診案内6
- 外来診療医師担当表7



令和7年度採用者の辞令交付式にて

地方独立行政法人 三重県立総合医療センター
Mie Prefectural General Medical Center



三重県立総合医療センター さらなる変化、拡充へ

業務の効率化など、より意識

新型コロナウイルス感染症による混乱から抜け、社会は日常を取り戻してきています。令和7(2025)年度、三重県立総合医療センターは、それらの教訓を生かし、診療体制のあらたな構築や拡充に着手し、地域医療の中での責任と役割を果たす取組を重ねています。今年度は第三期中期計画の4年目で、各目標の最終的な達成に向けた年でもあり、業務の効率化、接遇の向上など、より一層の意識を傾けていきます。

医療センターの今、これからについて、新保秀人理事長兼病院長にインタビューしました。

診療体制の可能性広がる

今年にかけて、耳鼻いんこう科、産婦人科、心臓血管外科の診療体制が変わりました。

耳鼻いんこう科はこれまで医師1名だったのですが、今年から医師2名体制となり、手術も可能になります。当面は鼻の手術が主になると思いますが、病院として出来ることを広げていきたいと考えています。

産婦人科は、新たな医師を迎えて新体制となり、妊婦さんの要望に今まで以上に応えています。なかでも、当院で「和痛分娩」と呼んでいる、いわゆる「無痛分娩」を積極的に導入したいと思っています。すでに高血圧などハイリス

クの妊婦さんには実施しており、今後は一般の妊婦さんにも拡大していく予定です。

最後に心臓血管外科ですが、こちらも体制を変え、手術の領域や術式などの改革を進める予定です。



理事長・病院長プロフィール

1979年三重大学医学部卒業。同大学附属病院で研鑽を積み、1989年にはリサーチフェローとして米国ハーバード大学医学部に留学。三重大学医学部附属病院胸部外科で講師、助教授、教授を経て、2005年に副院長に就任。2015年から三重大学副学長、三重県立総合医療センター理事を務め、2018年より理事長。

放射線治療で痛みの緩和も

昨年春に施設を一新した放射線治療体制は、治療の精密度が上がり、これまで対応できなかった臓器にも治療の手を延ばせるようになりました。また、痛みを抑える緩和治療も可能になりました。昨年度の放射線での治療件数は前年に比べ2割ほど多くなりました。

放射線治療というと、治療装置のイメージが強いのですが、根治ではないが痛みを取り除く「緩和照射」が放射線治療の分野でも注目されるようになりました。少ない照射回数でも効果があるとされています。患者さんが在宅で過ごす時に痛みを我慢して生活するのは大変で、生活の質を向上できると考えています。

陰圧手術室も想定以上に活躍

もうひとつ、効果を上げているのが手術室です。昨年、手術室を2室増設し、そのうちの1室は陰圧が可能な手術室です。ボタンひとつで手術室の陰圧(手術室のウイルスなどが室外に逃げない)を選択でき、伝染性の病気に感染した人の手術も可能になりました。

過去10年を振り返ってみても、新型コロナのように、呼吸器系の新しい感染症は度々発生しています。今後も起こりうると思わなくてはなりません。とくに妊産婦さんには重要で、赤ちゃんが生まれる時は緊急ですから、安心して対応できる場所を準備する必要があると考えていま



す。現在でも、感染症にかかっている人の手術が安心してできるため、当初の想定を上回って陰圧手術室が使われています。

令和7年度計画の重点

令和7年度計画では「診療報酬の精度向上」「業務の効率化」「接遇の向上」の徹底を挙げました。なかでも、業務の効率化は最重要であると考えています。

例えば、レストランやホテルの予約をする場合、インターネットの予約サイトを利用することが多いと思います。当院はそこに対応できておらず、電話予約を受けている状況です。

また、診察の際は、まず患者さんに紙に自分の症状や病歴などを記入してもらい、それを病院職員が手作業でパソコンに入力しています。患者さんにタブレットで入力してもらえればスムーズになるのでは、と考えています。

よくいわれる「デジタル化」と似ているのですが、なぜ「デジタル化」と言わないのかと言いますと、もっと大きなことを総合的にやりたいと思っているからです。病院はマンパワーで成り立ってきた部分があることは間違いないのですが、病院の業務全体から見て無駄な動きはないか、同じことを2回やっているような仕事はないか、そういうことを見直していきます。

接遇は悪くない、でもまだできる

接遇については、私自身も、この病院のレベルは悪くないと思っています。ただ、まだ改善の余地はあると思っています。全職員で研修などを重ね、「日本一の接遇」を目指していこうと思っています。いい治療をしていても、患者さんへの対応の言い方次第で印象が変わってしまう。気持ちひとつの大切さに職員全員が目覚めれば、もっとやれると思っています。

診療報酬は的確に正確に請求

病院の収入は、診療報酬請求によるものです。的確に正確に請求することが重要だと考えています。例えば患者さんに栄養相談を行った場合、診療報酬を請求させて頂くのですが、請求のルールは非常に細かく規定されています。私たちがしっかり理解して進めていく必要があります。

経営分析システムを活用し、診療報酬加算の算定忘れの抽出をしたり、医療経営委員会を定期的に開催してルールや取組を共有したり、ワーキンググループを開催して請求に関する知識の向上を図ったりと、精度向上のための取組を進めています。

基幹災害拠点病院の役割担う

当院は、基幹災害拠点病院に指定されています。三重県には当院より規模の大きい医療機関はあるのですが、それらの病院を調整する役割を担っています。

今、多くの病院は毎日の診療に必要な薬や診療材料を調達する時に、経営的に、できるだけ在庫を増やさず運営したいと考えます。しかし、それだけだと災害時には薬や診療材料が足りなくなってしまう。助けてくれるところを作っておいた方がいい。しかし、すぐ隣の病院では同じような被害に遭ってしまうかも知れない。そこで、当院は岐阜県総合医療センターと災害時の相互支援協定を結びました。

女性が働きやすい職場

女性が働きやすい医療機関の認証制度は、日本では三重県が最初に取組を始めています。3年に1回の認証の見直しがあり、当院は現在2回目の認証をいただいています。

看護師さんが育児休暇を取ったあと、職場に



▲患者支援センター

女性が働きやすい医療機関 認証マーク▶



戻っているのかなど、ずいぶん調査や勉強をしました。調べた結果、看護師さんの復職率は99%で、すごく高い数字だと思っています。少子高齢化が進む日本において、働きやすい環境を職員に提供することも大切だと考えています。

医学部を卒業する4割が女性という時代ですが、三重の病院では女性医師が20%台と、全国平均よりも低い。そのような中で当院では令和7年度に20人の研修医を迎えており、その半分以上が女性です。女性に働きやすい職場として選ばれているのであれば、とても喜ばしいです。

患者支援センター新設、地域連携に力

当院は、地域のクリニックからの紹介で患者さんが来院されますが、治療後は再び地域に戻って頂けるようにと考えています。自宅に戻れる方がいる一方で、新しい療養先でリハビリが必要な人もおられます。そういった方に転院先を探したり、地域ケアを専門にする病院など紹介したりすることが重要と考えており、患者支援センターという専門部署を立ち上げました。

これまで患者さんへの入院の説明は地域連携課という部署が行っていましたが、患者支援センターを新たに立ち上げたことで、退院後の地域との調整や、退院先や転院先が見つからない場合の調整などを専門的にできるようになりました。地域連携課は、地域連携に特化した部門として、患者さんの様々な事情に合わせた対応を行いたいと考えています。

新任医師を 紹介します

令和7年度 4月着任新任医師が13名赴任しました。よろしくお願いいたします。

耳鼻いんこう科・
耳鼻いんこう科長



森下 裕之

産婦人科・医長



前川 剛輝

消化器内科



池田 昂平

救命救急センター



木下 玄太

呼吸器内科



後藤 大基

麻酔科



植島 康博

整形外科



中山 裕一朗

脳神経内科



萩原 莉花

病理診断科



蔭田 直大

耳鼻いんこう科



吉村 康平

泌尿器科



中谷 穂

消化器・一般外科



渡辺 修洋

産婦人科



田中 良和

令和7年度 採用者の辞令交付式

令和7年4月1日に令和7年度採用者の辞令交付式が行われ、61名が新たな一員となりました。



藤森 絵乃

沢山の学びを吸収して大いに成長する1年にしたいです。頑張ります！

看護師



松本 昂大

初期研修医1年目として、しっかり成長できるように頑張りたいと思います！

初期研修医1年



天春 萌音

1年目ですらない点も多々あると思いますが、地域で活躍できる医師になれるように精一杯頑張ります。

初期研修医1年



林 美侑

新生活、緊張していますが、笑顔を保ち、信頼されるような看護師を目指します。

看護師



太田 萌音

社会人1年目、早く一人前になれるようがんばります。

診療放射線技師



大崎 泰輝

一人前の検査技師になれるよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。

臨床検査技師



渡邊 くるみ

わからないことは聞いて、疑問をためないようにし、チャレンジしていきたいです。「ありがとう」を忘れずに言いたいです。

薬剤師



藤原 妃那

1年目で分からないことが多いですが、何事にも全力で頑張ります！

管理栄養士



吉川 幸子

業務一つひとつを丁寧に確実に迅速に行い、「患者さんのために」を常に心がけ、地域に貢献できるよう頑張ります！

事務職員

NEWS 就労支援相談窓口開設のお知らせ

患者支援センターでは、令和7年3月より、四日市職業安定所と提携し、当院にて治療中の方、ご家族を対象に就労支援窓口を開設しました。「治療しながら働きたい」「就労の機会を探している」という方と職業安定所の相談員とをつなげる「かけはし」の場を提供させていただきます。

ご本人がお越しいただいても、ご家族がお越しいただいてもかまいません。空きがあれば当日の相談も可能です。どうぞ、ご利用ください。



- 日にち 毎月第3火曜日(原則予約制)
- 時 間 13:30~15:30(1日2枠)
- 場 所 三重県立総合医療センター 玄関ホール1階 患者支援センター
- ご予約は☎059-345-2321(月~金曜 8:30~17:15)または患者支援センターで承ります

NEWS がん市民講座・生活習慣病教室を開催しました

がん市民講座

令和7年3月8日(土)に、当院7階講堂にて「第17回がん市民公開講座」を開催しました。「がんにおける薬物療法」をテーマに、当院消化器・一般外科の山本医師、乳腺外科の野呂医師、化学療法支援室長の榎山薬剤師、の3名により、がんの治療方法や薬を使った治療に関すること、副作用などについて講演しました。現地参加26名、オンライン参加20名、合計46名の方にご来場頂き、大盛況でした。

当院は三重県がん診療連携拠点病院として、がん市民公開講座を開催しています。令和7年度の開催日程については、今後広報紙などでお知らせいたします。



生活習慣病教室



令和7年3月27日(木)消化器・一般外科山本医師による生活習慣病教室を生活習慣病教室を開催しました。「大腸がんを知ろう」~当院の大腸がん治療について~と題し、精密検査で「がん」と診断された場合の治療法について、大腸がんのステージについての解説を行いました。多くの地域住民の方に来ていただきました。

当院では、生活習慣病教室を定期的に行なっています。開催のお知らせについて、広報紙や院内掲示板に掲載しています。事前申込・参加費は不要ですのでお気軽にご参加下さい。

NEWS 消防訓練を行いました

令和7年2月19日(水)に、令和6年度第2回消防訓練を実施しました。7階スカイレストランからの出火を想定し、火災報知器の発報から発見通報、初期消火、避難誘導の訓練を実施しました。

実際に火災報知器が鳴る中で訓練が行われ、参加した職員は高い緊張感の中で手順の確認を行いました。

今度も訓練などを通じて火災予防、消防意識の向上に努めて参ります。



休診情報

完全休診

皮膚科…………… 5月30日(金)
精神科…………… 6月 5日(木)

都合により変更させていただく場合がありますので、最新の情報はウェブサイト、電話・メールにてご確認ください

WEB▶



外来診療医師担当表

令和7年5月1日現在 最新の勤務表はこちら



診療科	曜日	月 曜	火 曜	水 曜	木 曜	金 曜				
総合内科初診	1診	池田	1診	小林	1診	西田	1診	大須賀	1診	後藤
総合内科	2診	感染症内科 白木	2診	血液内科 和田	2診	白木	2診	消化器内科(再診)白木	2診	循環器内科(再診)山田
消化器内科	3診	森谷	3診	井上	3診	山中(第1・3・5)/水谷(第2・4)	3診	西浦	3診	中澤(第1・3・5)/小林(第2・4)
	4診	井上	4診	森谷	4診	小林(午前)	4診	山中	4診	西浦
消化器内科・循環器内科	5診	-	5診	水谷	5診	腎臓内科 村田	5診	菅	5診	腫瘍内科 齋藤
循環器内科初診	6診	増田	6診	加藤	6診	増田	6診	林	6診	谷垣内
消化器内科・循環器内科	7診	加藤	7診	中澤	7診	谷垣内	7診	中嶋	7診	増田
ペースメーカー外来	-	-	-	-	-	-	-	-	2週・4週	担当医

※消化器内科水曜日の3診、消化器内科金曜日の3診、第1週・第3週・第5週と第2週、第4週で担当が代わります。

呼吸器センター	初診	1診	藤原	1診	吉田	1診	後藤	1診	三木	1診	児玉
	再診	-	-	-	-	2診	増田	-	-	-	-
	再診	3診	後藤	3診	三木	3診	児玉	3診	吉田	3診	藤原

※緩和ケア外来希望の方は金曜日9時~11時(完全予約制)

消化器・一般外科	1診	横江	1診(午前)	担当医	1診	尾嶋	1診	毛利	1診(午前)	担当医
	2診	尾嶋	-	-	2診	山本	2診(午前)	森本	-	-
	3診(午前)	毛利	-	-	3診(午前)	横江	-	-	-	-

小児外科	-	-	2診	内田	-	-	2診	内田(14時~)	-	-
------	---	---	----	----	---	---	----	----------	---	---

乳腺外科	-	-	1診(午後)	小島	-	-	3診(午前)	山下	2診	東
	3診(午後)	乳腺外来	3診	山下	3診(15時~)	乳腺外来	3診(午後)	乳腺外来	3診(午前)	乳腺外来
	-	-	-	-	-	-	(午前)	小島	-	-

※乳腺外来は完全予約制です。

形成外科	-	-	-	-	第1週(9時~11時半) 第2週~第5週(13時半~15時半)	橋本	-	-	-	-
------	---	---	---	---	------------------------------------	----	---	---	---	---

心血管外科/呼吸器外科	1診	近藤	1診	新保	1診	井上	1診	-	1診	井上
	2診	庄村	2診	鈴木	-	-	2診	-	-	-

脳神経外科	1診	田中	1診	黒田	1診	寺島	予約診	担当医	1診	佐野
	2診	亀井	午前予約制	脳血管外来(佐野)※	-	-	-	-	2診	亀井
	-	-	-	-	-	-	-	-	午後予約制	脊椎脊髄外来

※脳神経外科第2週・第4週火曜日9時~11時(完全予約制)

脳神経内科	1診	伊藤	1診	伊藤	1診	掃部(第1・3・5)/伊藤(第2・4)	1診	大久保(第1・3・5)/萩原(第2・4)	1診	掃部
	2診	大久保	2診	掃部	2診	西垣	2診	萩原(第1・3・5)/大久保(第2・4)	2診	伊藤

※水曜日の1診、木曜日の1診、2診は、第1週・第3週・第5週と第2週、第4週で担当が代わります。

小児科	1診	杉山	1診	西森	予約診	太田	1診	太田	1診	杉山
	2診	西森	2診	太田	予約診	杉山	2診	西森	2診	鈴木
	3診	太田	3診	荻野	予約診	大森/山口	3診	中村	3診	林
	予約診	山口	-	-	時間外/紹介	西森	-	-	予約診	山口

産婦人科	1診	前川(第1~4)/田中(第5)(初診)	1診	杉本(初診)	1診	河村(初診)	1診	竹内(初診)	1診	小村(初診)
	2診	杉本	2診	朝倉	2診	竹内	2診(午前)	田中	2診	河村
	-	-	-	-	-	-	2診(午後)	1ヶ月健診	-	-
	3診(午前)	南(第1・3・4・5)/田中(第2)	3診	小村	3診	前川	3診	たんぽぽ(助産師)外来	3診	朝倉
	3診(午後)	母体胎児診断(第1・3・4・5)/田中(第2)	-	-	-	-	-	-	-	-
	4診	たんぽぽ(助産師)外来	-	-	-	-	4診	リハ/浮腫ケア外来(完全予約制)	-	-

※月曜日の1診、3診は、第1週~第5週で担当が代わります。

整形外科	1診(午前)	北尾(膝関節外来・紹介)	1診(午前)	北尾(再診)	1診(午前)	服部徹也(紹介・初診・股)	1診(午前)	奥山(再診)	1診(午前)	奥山(紹介・初診)
	1診(午後)	-	1診(午後)	北尾(再診)	-	-	1診(午後)	奥山(再診)	1診(午後)	-
	2診(午前)	柿本(紹介・初診・膝)	2診(午前)	服部佳生(紹介・初診)	-	-	2診(午前)	中山(紹介・初診)	-	-
	2診(午後)	-	2診(午後)	服部佳生(再診)	-	-	2診(午後)	中山(再診)	-	-
	3診(午前)	服部徹也(リハ、再診)	3診(午前)	柿本(リハ、再診)	-	-	3診(午前)	服部佳生(リハ、再診)	3診(午後)	中山(リハビリ、初診)
	3診(午後)	服部徹也(再診)	3診(午後)	柿本(再診)	-	-	-	-	-	-

皮膚科	1診(午前)	須賀	1診(午前)	加古	1診(午前)	加古	1診(午前)	杉岡	1診	加古
	1診(午後)	加古	午後	褥瘡回診	午後	手術	1診(午後)	加古	-	-

泌尿器科	1診	神田	-	-	1診	中谷	1診	松浦	1診	伊藤
	予約診	松浦	-	-	予約診	神田	-	-	予約診	中谷
	予約診	中谷	-	-	予約診	伊藤	-	-	予約診	松浦

眼科	1診	佐宗	1診	佐宗(午後休診)	1診	佐宗	1診	佐宗	1診	佐宗
----	----	----	----	----------	----	----	----	----	----	----

耳鼻いんこう科	1診	森下(初診)	-	-	1診	森下(初診)	1診	森下(初診)	完全予約制	担当医
	2診	吉村(再診)	-	-	2診	吉村(再診)	2診	吉村(再診)	-	-
	午後診	吉村(再診)	-	-	午後診	吉村(再診)	午後診	FNA	-	-

精神科	1診	山下	1診	山下	1診	山下	1診	山下	1診	山下
-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

放射能科	1診	南平	1診	南平/野本	1診	南平/高田	1診	南平	1診	南平
------	----	----	----	-------	----	-------	----	----	----	----